

サマーキャンプ2014実施報告書

1. 日時：平成26年8月3日（日）～8月7日（木）
2. 場所：ボーイスカウト日本連盟山中野営場
3. 参加者：スカウト 79名（11地区 BS70名 VS9名）
引率指導者 19名（参加隊指導者12名、
スタッフ奉仕者7名）
運営スタッフ 56名
DPVCスカウト 2名
参加者合計 156名
来賓 2名
（山内東京連盟副理事長、村山県連盟副コミッショナー）
4. 寄付：山内副理事長
5. 1 キャンプスキルプログラム
①クラフト（結索・工作物） ②通信（手旗・モールス・救難信号）
③計測（歩測・コンパス） ④ナイフ（刃物の取り扱い）
⑤読図（地図記号・座標） ⑥たき火（火おこし）
5. 2 アクティビティープログラム
①アクアティクス（スイミング）
②自分のカヌーは自分で漕げ（カヌー）
③シューティングマイアロー（アーチェリー）
④石割を目指せ！（追跡ハイク） ⑤紅富士を目指せ！（読図ハイク）
⑥山中スカイツリー（バイオニアリング）
5. 3 ナイトプログラム
①スカウトソング ②ナイトゲーム
5. 4 スペシャルプログラム
①ヤタガラス
6. プログラム
8月2日（土）スタッフ入場、資材準備、打合せ
8月3日（日）参加スカウト入場、開会式、設営、隊のプログラム
8月4日（月）キャンプスキルプログラム、アクティビティープログラム、ヤタガラス、
ナイトプログラム（スカウトソング、ナイトゲーム）
8月5日（火）キャンプスキルプログラム、アクティビティープログラム、ヤタガラス
ナイトプログラム（スカウトソング、ナイトゲーム）
8月6日（水）キャンプスキルプログラム、アクティビティープログラム、隊のプログラム
8月7日（木）撤営、点検、閉会式、退場

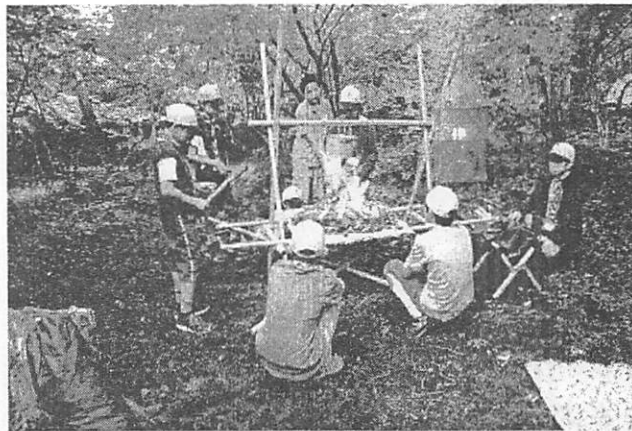
3 林登



野営場入場



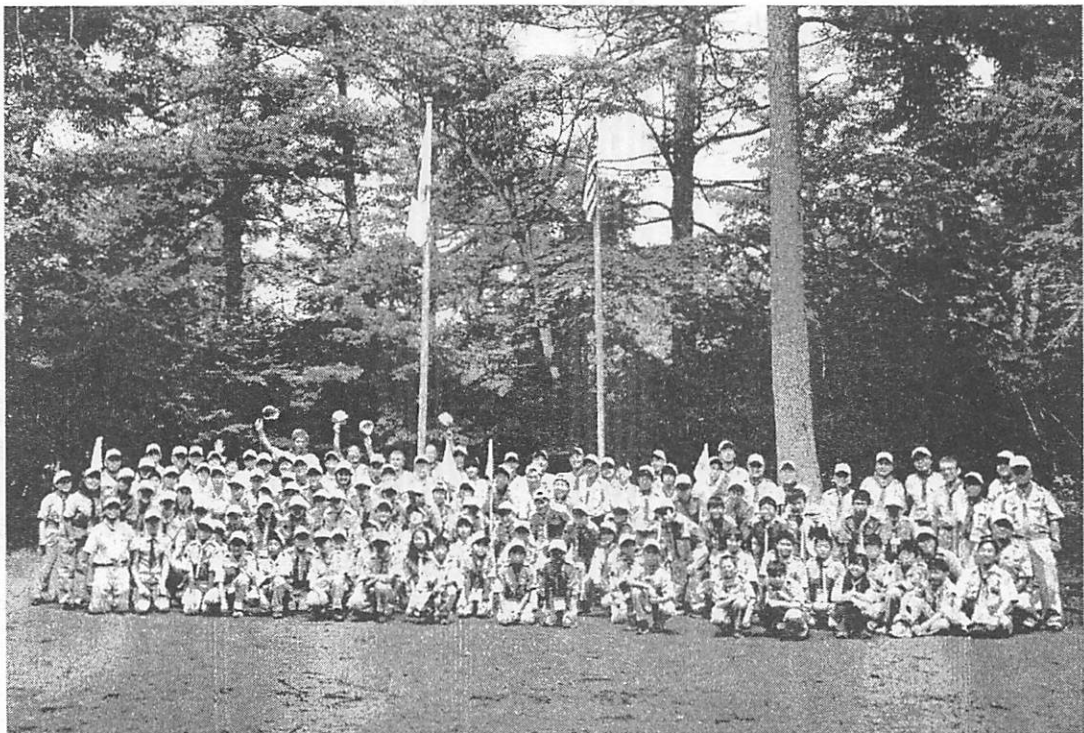
立ちかまど作成



食事作り



班長会議



集合写真

A group of Boy Scouts are hiking on a dirt path through a dense forest. They are wearing green caps and carrying gear, including a large stack of boxes on a shoulder. The scene is bright and sunny, with sunlight filtering through the green leaves. A blue banner with white text is superimposed over the upper part of the image.

THE MEMORIES OF SUMMER
AT YAMANAKA

2014年8月3日~7日
日本ボーイスカウト東京連盟
サマーキャンプ2014

インデックス

○午前のプログラム：スカウトスキルに関するもの

1. クラフト (A1-1)
2. 通信 (A1-2)
3. 計測 (A2-1)
4. 読図 (A2-2)
5. ナイフ (A3-1)
6. たき火 (A3-2)

○午後のプログラム：楽しい選択アクティビティ

7. アクアティクス (B-1)
8. カヌー (B-2)
9. アーチェリー (B-3)
10. 追跡ハイク (B-4)
11. 地図ハイク (B-5)
12. パイオニアリング (B-6)

○夜間のプログラム：楽しいゲームとソング

13. スカウトソング (C-1)
14. ナイトゲーム (C-2)

○特別プログラム：1級スカウトの試練

15. 八咫鳥 (ヤタガラス) (S)

○関連プログラム：BSA派遣スカウト対応

16. 富士登山

1. (クラフト) (A1-1)



色々な結び方を練習した後で班毎にノットボードを作りました。見本の大きなノットボードを参考にして、班員皆で多くの結びをボードに張り付けて班対班で競い合いました。ただ結ぶだけでなく「何に使う結び方か」を理解しながら作りました。希望者は、策端止め、バックスプライス、ショートスプライス、アイスプライスにも挑戦できました。

【プログラム内容】
実業的ロープ・ワークの修得
E5 ロープ結び 1~6

Presented by
加藤憲一郎
指田守昭、浅倉 亮、平野雄大、浅倉京子

2. 通信 (A1-2)



モールス信号、救難信号、無線機・・・聞いたことはあるけれど、良く知らないし、やったことはない。スカウトのほとんどがそのような状況でしたが、各コーナーでは興味を持って取り組んでいました。音・光・旗のモールス信号、協動作業で作る救難信号、何を話そうか戸惑いつつも交信した無線機。最後に全員で手旗の原画と送受信方法を復習し、3個班対抗の手旗競走ゲームを実施。1班だけ断トツで勝利した班もありましたが、殆どの班は個人の技能よりはチームワークで読み取りチャレンジ・・・それもまた良かった！と思います。

【プログラム内容】

手旗の原画動作、交信手順の確認、救難信号、無線機の使用法、モールス信号の送受信を知る。
D3 通信 1、2、3、6

Presented by

小室礼子
佐野千尋、溝呂木 淳、高野輝日、佐野弘明

3. 計測 (A2-1)



シルバコンパスの特徴や名称の確認と16方位の確認をした後は、「あっち向いて、ホイ」のゲームで方位角、方位を楽しく学びました。次に歩測に挑戦ですが・・・その前に20mで練習してから、本番の50mでは、誤差5%以内に殆どのスカウトは合格!! 最後は、パーティーを組んでゲーム「目的地を探せ」のお題通り、苦戦?!しながらも力を合わせて上位3位の入賞目指して進路を発見しました。

【プログラム内容】

シルバコンパスや身体を使って、進路を発見し進んで行こう。

C2読図 2、C6OL 4、D2計測 1

Presented by

宇田川真樹

喜多村一郎、多井弘志、佐野千尋

4. 読図 (A2-2)



主な地図の種類としてメルカトル、モルワイテ、正距方位の各図法を資料で示し、その特徴と利用法を紹介しました。また日本が上下逆になっているオーストラリアの地図を示し、いつも日本が中心ではないということを感じてもらいました。三角点の実物を見たことがないスカウトは、三角点は本当に三角の形かピラミッド型をしているかと思っていたようで、山中湖湖畔の本物を写真で見てもらいました。水準点の原点は何人かが学校行事で見に行ったことがあるということでした。他に磁北と真北の違いを説明したのち、等高線クイズ、地形図記号、座標読みクイズを行い、等高線クイズの点数の高かった班に伊藤印のクッキーを贈呈しました。地図に少しは親しんでもらえたようです。

【プログラム内容】

2万5千分の1地形図の読図、座標読みと三角点、水準点を知る。
C2読図 1, 3 (一部), 4 (一部)
※3, 4は地図ハイク参加で履修完了

Presented by

伊藤和子
品田千絵保、丸山敦子、佐々木まさ子

5. ナイフ (A3-1)



ナイフの種類 取り扱い方・刃物の分類 (片刃・両刃) を説明したあと、ナイフの研ぎ方と砥石の種類を説明し、オイルストーンを使ったナイフ研ぎの実習をしました。ナイフ研ぎの実習は皆真剣に取り組んでおり、持参したナイフは帰りにピカピカになっていました。その後、1個班ずつ順番にアックスの取り扱い実習をしました。太目の小枝をカットする実習でしたが、アックスがけっこう重いのので苦労していました。初めて使うアックスだったので、もっと時間が欲しかったかもしれません。

【プログラム内容】

ナイフとハンドアックス (手斧) の取り扱いを学んで、君もナイフマスターになろう。
E3キャンプクラフト 3

Presented by

鈴木秀夫
佐々木まさ子、田中 優

6. たき火 (A3-2)



「新聞紙を使わず、拾い集めた薪にマッチ2本以内でスマートに着火!」と思いきや・・・大苦戦!
どの班も班長を中心に役割分担をして素早くカマドができたものの、着火段階で悪戦苦闘!
上級班長たちにアドバイスをもらいながら、何とか全部の班がポップコーンを食べることができました。
早めに課題をクリアした班は「舞ざり式火おこし」にもチャレンジしました。

【プログラム内容】

防水マッチを使った班対抗火起しレース (ポップコーン作り)

E4燃料1、E6たき火1、3、4、6

Presented by

只野太一

山本弥生、山本武秀、柴田統央